



こんにちは

村田けい子

です

2016.10.20

No.73

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868



玄関に飾られたてづくり横断幕。

立科小学校開校40周年記念事業 多彩に全員参加型で行われる。

良く晴れた10/15(土)3校が合併してできたという立科小学校の40周年記念事業が行われました。私も来賓として招かれましたが、この日の記念事業はいつものものとは全く違う、思い出深いものになりました。

第1部は普通のご挨拶でしたが、その後、「来賓さんいらっしゃい」という企画があり、3-1と書かれたプラカードを持つ子供に連れられてクラスへ。受付で付けられたリボンに学年とクラス名が書いてあり、来賓はそれぞれ分かれて子どもたちと交流。まず、グループに分かれて、自己紹介と簡単な質問が。

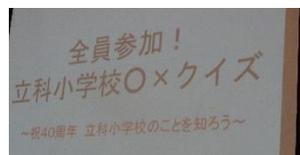
『立科町の好きなところはどこですか?』『趣味は何ですか?』などの質問に応えた後、みんなで「立小バスケット」というゲームをしました。これは椅子取りゲームの一つで、鬼の子が条件を言い、それに該当する人が椅子から離れて移動するというものです。椅子に座れなかった人は、「自分の名前と出身地」を言い、その後「町のいいところ」を答えた後、再び条件を出すというもの。



3年1組でゲームを楽しむ。

「立小バスケット」というと全員が立ち上がります。「桐原出身の人」「りんごが好きな人」「女の子」「男の子」など条件を出して椅子を取り合うのですが、来賓も子供たちも真剣に椅子を取り合い、大変な盛り上がりでした。

再び体育館に戻り今度は全体で○×クイズ。立科小についての質問です。「立科小学校は4つの学校が統合した。○か×か?」「小学校図書館の本は2万冊である」「米飯給食は週に5日である」など考えながら学べるクイズで、そのたびにグループで話し合い、○か×かを決めてそのゾーンに移動します。私のチームは5年生の女子児童がとてもよく知っており、何と全問正解でした。



40周年を記念して、校歌を2部合唱にしたとのことで作詞された山川先生と、2部合唱に編曲され、風をイメージした前奏-間奏を付け加えられた作曲の林先生とが壇上で、校歌について語りました。

小学校の金管学部や合唱部の発表があり、最後は校歌を1~6年生の全員が2部合唱にして歌ってくれました。



「子どもたちがお客さんになるような記念事業にはしたくなかった」との教頭先生の言葉通り、子どもが輝くイベントに来賓も大満足でした。



真っ赤な秋



今週のパチリ

真っ赤だな 真っ赤だな
ツタ~の葉っぱは 真っ赤だな
モミジの葉っぱも 真っ赤だな
沈む夕陽に 照らされて
真っ赤な頬っぺたの 君と僕
真っ赤な秋に 囲まれている
美しい季節になりました。

11・16(日) 中山道ウォークに全国から

町区、上房区、茂田井区など、区を挙げておもてなし

議会報告

11・12(土)13:30~
立科町公民館
オスプレイについてのD
VD上映もあります。
お話 藤岡 義英 県議
村田 桂子 町議
ご参加お待ちしております。



「各地のおもてなしで、オイシイ《和宮御膳》が食べられないことのないよう、気を付けて」の注意も。出発式



首都圏からも参加者が、もちろん町内からも。



皇女和宮さまも泊まった本陣「土屋家」



土屋家の広間に葉武田信玄に謁見する真田の姿も書かれている絵



出発してすぐに、甘酒のおもてなしを受ける。かわいい小僧さんたちが振舞ってくれる。角を曲がるとキノコ汁が。秋の味覚に大喜び。



日本地図を焼き付けた大皿や塗りのお膳も。



和宮から下賜された螺鈿の文箱

参加者130名は班に分かれてA Bの二つのコースに分かれ、それぞれ歴史ボランティアさんから説明を受ける。私は「町~松並木~津金寺~」のコースに午前中、参加しました。



笠取峠の講演にある皇女和宮お腰入りの行列銅板画



菅笠、法被姿のボランティアガイドさん



松並木。松くい虫にやられないように苦労している。それぞれ木には番号札が付されている。



笠取峠の公園から津金寺へ、着流し姿の男性2人が風景に溶け込んで風情を醸し出している。



五無齋保科百助の句碑

笠取公園から歩くとすぐ左手にある。「我死なば 佐久の山部へ送るべし 焼いてなりとも 生でなりとも」 度肝を抜かれる狂歌である。



天候不順のため取入れが遅れた。家族総出ではぜ架けをしていた。



津金寺。地域の方手作りの豆の砂糖菓子、リンゴ、漬物何よりのおもてなしに参加者はホッと一息。



今回は中山道ウォークを特集しました。立科町のイベントは協力隊のみなさんがフェイスブックなどにどんどんアップしてくれています。知るほどに町の魅力に惹きつけられます。多くの方に訪れていただきたいですね。